

令和7年度 部局経営方針

部局名		東郷総合支所	部局長名	濱田 卓己	令和7年4月1日 現在
部局の経営資源	職 員 数 (人)		当初予算額 (千円)		令和7年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)
	正 職 員	3	一般会計	37,507	
		(ほか兼務 人)	特別会計	0	
	再任用職員	1	前年度繰越額(千円)		
	会 計 年 度 任 用 職 員	2	一般会計	0	
			特別会計	0	
任期付職員					
総合計画に基づく部局の経営戦略	【基本姿勢】 東郷総合支所は、「第3次日向市総合計画」(令和7～10年度)に掲げる将来像「人と自然が響き合い、にぎわいあふれる共創のまち日向」の実現に向け、関係部局と横断的な連携を図りながら中山間地域の活性化に向けた取り組みを推進します。また、地域とともに策定した「東郷地域振興計画(令和4～10年度)」に掲げる将来像「私たちでつくる持続可能なふるさと東郷」の実現を目指し、持続可能な地域づくりに取り組みます。				
	【総合計画・まちづくりで大切にしたい考え方】 (3)地域力活用(地域力の活用による持続可能なまちづくり) ◆ 市民が地域社会の抱える様々な課題に対して関心を持ち、地域の特性や魅力を生かした福祉や教育、観光、防災など多様なまちづくりに参画し、ふるさと日向への誇りや愛着を持つ心を育みながら、地域課題の解決を図り、持続可能な地域社会の実現を目指します。				
	【総合計画・基本目標】 3－6 中山間地域の活性化と移住定住の促進 ① 中山間地域の活性化 ○集落支援員を活用した地域支援に取り組むとともに、東郷地域振興計画推進会議など住民の参画を得ながら7つの方針に基づく事務事業の適切な進捗管理に努めます。 ○過疎地域振興基金の活用を促し、地域住民主体の取組を支援します。				
	【行財政改革大綱に基づく行動計画】 1－1－3 業務担い手の最適化 ○現在、正職員や再任用職員等が担っている東郷まちづくり協議会事務局業務について、業務の性質や難易度に応じて、特別交付税を財源とする集落支援員等を活用し、業務分担の見直しを進めます。				
	1－2－1 ペーパーレスの推進 ○会議資料等のデジタル化によるペーパーレス会議の推進等により、資料の印刷・配付作業に要する業務量やコストの削減、ファイリング事務の省力化に取り組みます。 ○電子決裁を積極的に実施し、事務の迅速化・遅延防止を図るとともに、本庁への出向回数の減による時間の有効活用、公用車の燃料代削減に取り組みます。				
	1－2－2 ICT活用による業務効率化 ○生成AIを活用した文書添削や資料作成、企画立案のアイデア出し、データ分析など、業務の効率化に努めます。				
	3－2－1 ワーク・ライフ・バランスの実現 ○各種休暇の計画的な取得促進、時差勤務やテレワークなど、多様な働き方の活用に取り組みます。				